

3D プリンターで作った模型を展示しています

鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科の元木先生より、3D プリンターで作成した模型を寄贈していただきました。

3D 模型は、視覚障害者が物体の形を捉えるためにも利用されています。

実物に触れることで興味を広げ、先端技術やものづくりへの関心を深めてほしいです。



実際には触ることも危険なカエンダケ。3D 模型なら手に取ることができます。隣の模型はコロナウイルスです。



3D プリンター